



ハッピー ニュー イヤー

ライウィ アグン ヌグロホ
LAYWI AGUNG NUGROHO

日本に来て初めての冬休みのことです。会社から9連休をもらいました。はじめは、大阪に行くつもりでした。松山より大阪の方が賑やかだし面白いと思ったからです。でも、お金がなかったのです。しかたなく松山で新年を迎えることになってしまいました。それでも、とても楽しみにしていました。インドネシアのニューイヤーと同じだと思っていたからです。インドネシアの新年の祝いは、とても面白くて楽しいです。みんなが市の中心部に集まります。そこにはたくさんの屋台があって、コンサートも行われます。一番素晴らしいのは零時を越えた時美しい花火が上がることです。

12月31日の夜、私は友達と松山の街でお祝いしようと思いました。19:45に寮を出ました。街に着いておどろきました。その辺りではローソンしか開いていませんでした。他の店は全部閉まっていた。そして静かで寂しくて人もあまりいませんでした。私達は自転車です。15分ぐらい街を回ってみました。でも何も見つけれませんでした。それでも私は諦めませんでした。たぶんどこかにみんな集まっていると思いました。私達はもう一つの賑やかな所に行きました。道後温泉です。夜の空気はますます寒くなってきていました。それで、道後へ行く前にローソンで温かい飲み物を買って温まりながら行きました。けれども、そこでも同じ状況を見

ました。寂しくて寒いです。なぜ日本の新年はこのようなのだろうとベンチに座わって考えました。長い間考えた後、私達はとうとう諦めて寮に帰ることにしました。

その途中、愛媛大学の近くを通りました。そこには大きな神社がありました。そして、そこに多くの人が集まっているのを発見しました。私達も神社に入ろうとしました。その時誰かが近づいてきました。入ってはだめなのだと思いました。しかし、それは全く逆でした。人々はやさしく歓迎してくれました。

そして、一人のおじいさんが『日本のお正月』について年末の準備から詳しく教えてくれました。年末、まず日本人は特別な食べ物を作ります。『もち』です。しかし、いつもの作り方とは違います。機械ではなく『きね』と『うす』で作ります。そして、31日の夜、日本人は『年越しそば』を食べます。なぜ年越しそばかというと、年末長い時間準備をして疲れるので楽になるように簡単な食べ物を食べるのだそうです。そして、お祈りに行きます。日本人はその夜一番願いが叶うと信じています。それだけではなく鐘を108回打ちます。『じょやの鐘』と言います。

時間を忘れて聞いていました。2時間、経っていました。「いろいろ教えてくれて、ありがとうございました。おじいさん、また会いましょう。」と言って別れました。この夜、いろいろな経験を持って帰りました。やはり、違う国では文化も違うのだと感じました。忘れられない初めての日本のお正月でした。

国籍	インドネシア
職種	塗装
実習実施機関	株式会社井関松山製造所
監理団体	公益社団法人日本・インドネシア経済協力事業協会